

# 国語「古文」 第1章. 未然形接続の助動詞②

## 1 む

基本形	む
活用の型	四段型
未然形	ま
連用形	○
終止形	む
連体形	む
已然形	め
命令形	○

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

### (3) 探そう

<古文> 我的ぼりて探らむ

<現代文> 私が登って探そう

【主な意味と用法】

- 意志  
「～しよう」  
我的ぼりて探らむ  
(私が登って探そう)
- 婉曲  
「～のような」  
思はむ子を法師になしたらむこそ  
(可愛いと思うような子を法師にするようなことこそ)
- 推量  
「～だろう」  
女の盛りになりなば、髪もいみじく長くなりなむ  
(女の盛りになったならば、髪もきつと大変長くなるだろう)
- 適当  
「～するのがよい」  
花を見てこそ帰り給はめ  
(花を見てお帰りになるほうがよい)
- 婉曲  
「～のような」  
翁の申さむことを聞き給へ  
(おじいさんが申し上げるようなことをお聞きなされ)

## 2 むず

基本形	むず
活用の型	サ変型
未然形	○
連用形	○
終止形	むず
連体形	むずる
已然形	むずれ
命令形	○

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

### (6) 参り来るでしょう

<古文> かの本の国より迎へに人々まうで来むず

<現代文> あの本国より迎えに人々が参り来るでしょう

【主な意味と用法】

- 意志  
「～しよう」  
そこに堂を建てむずるぞ  
(そこにお堂を建てるつもりだ)
- 推量  
「～だろう」  
それぞ孝養にてあらむずる  
(それこそ何よりの供養であろう)
- 適当  
「～するのがよい」  
さこそはあらむずれ  
(そのようにあるべきだ)
- 婉曲  
「～のような」  
さる所へまからむずるも、いみじくはべらず  
(そのようなところへ参りますようなことも、今の私にはうれしくございません)



### 【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



### 【オマケの一題】

古文・漢文

「はかなし」の意味は？

(A) 緑の (B) 気むずかしい (C) 気力にあふれた (D) つまらない